

2007年5月16日

リバティ・アライアンス、新しい会員制度を発表

～日本をはじめとする特定地域やグローバルの分科会を公開するとともに会員メリットを拡大～

[2007年5月15日(米国時間)Liberty Alliance 発表]

世界規模のアイデンティティ管理コンソーシアム「リバティ・アライアンス」は本日、新しい会員制度について発表しました。今回の新たな取り組みにより、(1)すべての個人ユーザーや組織に対しリバティ・アライアンスのリソースへのアクセスをより容易にすること、(2)デジタル・アイデンティティ管理に関する個人、企業、および技術面でのリバティの実績あるモデルを基にセキュリティとプライバシー保護に配慮した相互運用可能な次世代のアイデンティティ管理標準技術の開発への参加を促すこと、を目指します。

今回の会員制度の刷新に伴い、多くのスペシャル・インタレスト・グループ(SIG:分科会)およびメーリング・リストを公開しました。また、すべての会員レベルで会員メリットを拡大しました。リバティ・アライアンス内でのプロジェクトへの参加資格の制限を排除し、あらゆる組織、地域、業界からの参加を可能にしました。これにより、オープンで相互運用可能なデジタル・アイデンティティ管理ソリューションの開発と導入をさらに促進していきます。本日発表された会員制度の主な変更点は以下のとおりです。

個人会員の開設 個人が、リバティ・アライアンスに入会して複数組織にわたるプロジェクトに参加すること、またはリバティ・アライアンスにプロジェクト・ベースで参加することが可能になります。これまで、リバティ・アライアンスへの入会資格は組織に限定されていました。しかしグローバルなアイデンティティ管理が進化を続ける状況の中で、リバティ・アライアンスはアイデンティティ管理に関する業界全体のニーズや各業界に特有のニーズに対して協調的な対応を進めるためには、あらゆるユーザーの声に耳を傾ける必要があることから今回個人会員を新設しました。個人がリバティ・アライアンスに加入するための詳細は、次のサイトをご覧ください。

http://www.projectliberty.org/index.php/liberty/membership/become_a_member

SIGの公開 Japan SIG(日本分科会)、Identity Theft Prevention SIG(アイデンティティ窃盗防止分科会)、eHealth SIG(eヘルス分科会)など、特定地域のSIGおよびグローバルなSIGへの参加資格を非会員にも公開していきます(注)。また、今後設立される新規のSIGはすべて公開されます。これにより、開発者、個人ユーザーおよび組織は、業界内および複数業界間のデジタル・アイデンティティ管理の課題に対応するために進められる様々な活動、議論、イベントへの参加が可能になります。公開されるSIGの一覧および参加方法の詳細は、次のサイトをご覧ください。http://wiki.projectliberty.org/index.php/Main_Page

(注) Japan SIG は公開に向けて参加方法や具体的な活動内容について現在検討中です。

メーリング・リストの公開 リバティ・アライアンスは、明確な利用シーンを想定した標準技術を、その成功の鍵を握る開発者、ベンダー、およびユーザーの声を反映して開発する唯一のグローバルなアイデンティティ管

理組織です。この協調的なプロセスにより、リバティ・アライアンスが提供する標準技術は、世界中の導入組織やユーザーが求める実際的なアイデンティティ管理要件を確実に満たすものとなっています。エキスパート・グループやSIGのメーリング・リストを公開することで個人ユーザーや組織は、たとえばテクノロジー・エキスパート・グループ(TEG)における標準技術開発プロセスや、リバティ・アライアンスが将来どのような技術を提供しようとしているかについても深く理解することが可能になります。公開されるメーリング・リストの一覧は、次のサイトでご覧いただけます。http://www.projectliberty.org/index.php/liberty/public_community

会員メリットの拡大 リバティ・アライアンスの会員構成は、マネジメント・ボード、スポンサー、アソシエイトの3レベルです。これらの会員レベルは、個人または組織が望むリバティ・アライアンスへの関与の程度を基に定義されています。今回、すべてのレベルで会員の参加をさらに促進することを目的に会員メリットが拡大されました。特にアソシエイトとして加入する個人および組織は今回あらたに、リバティ・アライアンスの4つのエキスパート・グループ、すなわちビジネス・アンド・マーケティング・エキスパート・グループ(BMEG)、テクノロジー・エキスパート・グループ(TEG)、ストロング・オーセンティケーション・エキスパート・グループ(SAEG)、パブリック・ポリシー・エキスパート・グループ(PPEG)のうち、いずれか一つに本格的に参画することができるようになりました。本日発表された会員メリットの一覧は、次のサイトでご覧いただけます。

http://www.projectliberty.org/index.php/liberty/membership/membership_matrix

リバティ・アライアンスのマネジメント・ボードは、先月ベルギーのブリュッセルで開催されたメンバー会議でこの新しい会員構成を承認し、2007年5月1日より変更することを決定しました。公開されるメーリング・リストおよびSIGに参加する個人および組織は、5月1日以降にアーカイブされたメールおよび文書へのアクセスが可能になる予定です。

リバティ・アライアンスについて

リバティ・アライアンスは、IT企業、個人ユーザー向けサービス・プロバイダー、教育機関および政府機関などの会員が、デジタル・アイデンティティ管理の技術、ビジネスおよびプライバシー上の課題に取り組み、より信頼性に優れたインターネットの構築を目指して協力するグローバルなアイデンティティ管理コンソーシアムです。リバティ・アライアンスのマネジメント・ボードは現在、AOL、Ericsson、Fidelity Investments、France Telecom、HP、Intel、Novell、NTT、Oracle、Sun Microsystems 各社の代表者で構成されています。世界中のアイデンティティ管理組織と協力し、アイデンティティ管理に関するグローバルな議論における意見を確実に成果物に反映するとともに、セミナーや導入関連イベントを定期的で開催し、相互運用可能でプライバシーに配慮したセキュアなアイデンティティ管理ソリューションが個人ユーザーや企業にもたらすメリットを実証しています。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ

リバティ・アライアンス・プロジェクト 広報担当

株式会社プラスワン・コミュニケーションズ

池田 明 / 田中 義之

TEL:03-3443-1007 FAX:03-3443-1008

E-Mail: liberty-pr@plusonecomm.co.jp